学校番号	３１０

令和８年度　芸術科

教科	芸術科	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書道Ⅱ」（光村図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰの授業で学んだことを発展させるとともに、新たな書体や書風を学ぶなかでそれぞれの表現方法を身に付けながら、文字の表情の違いを味わいます。
・中国で生まれた漢字が時代とともにどのように変化してきたのか、その変遷を知り、先人たちによって受け継がれてきた漢字や日本独自の文字である仮名について学びを深めます。
・書道の一分野である「篆刻」を学びます。名前を大切にする態度を育むとともに、書作品における印の重要性やその価値を理解しながら、自分の姓名印を作成します。
・「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の学習を通じて、自らの意図に基づいて表現を構想し、工夫を重ねながら作品制作に取り組みます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式､多様性について幅広く理解している。 ・書の伝統に基づき､作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	漢字の書	・篆書の古典臨書を通じて、表現形式に応じた全体の構成と、篆書を構成する様々な要素を理解する。 ・漢字の誕生 ・甲骨文 ・金文 ・泰山刻石	a:篆書を構成する様々な要素や、古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、中国の文字と文化、文字の美と時代などとの関わりについて理解を深めている。（鑑・知） a:篆書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。（技） b:篆書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:篆書の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑） c:主体的に篆書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に篆書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)	作品 プリント	作品 プリント	観察 プリント

	篆刻	・篆刻を構成する様々な要素、書体・書風や配字等による表現の効果を理解する。 ・篆刻の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し、工夫しながら表現する。 ・選文、検字 ・印稿の作成 ・運刀、補刀 ・印泥の扱い方 ・押印	a:篆刻を構成する様々な要素、書体・書風や配字等による表現の効果を理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国の文字と書の伝統と文化、書の美と時代などとの関わりについて理解を深めている。（鑑・知） a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、書体・書風、配字等による全体の構成の技能を身につけている。（技） b:篆刻の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 b:作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:主体的に篆刻の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に篆刻の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)	作品 プリント	作品	プリント 観察
2	漢字の書	・隷書、草書の古典臨書を通じて、表現形式に応じた全体の構成と、篆書を構成する様々な要素を理解する。 ・漢字の書の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら表現する。(創作) ・コンクール ・曹全碑 ・書譜	a:隷書・草書を構成する様々な要素や、古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、中国の文字と文化、文字の美と時代などとの関わりについて理解を深めている。（鑑・知） a:隷書、草書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。（技） b:隷書、草書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:隷書、草書の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑） c:主体的に隷書、草書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に隷書、草書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	作品 プリント	作品 プリント	観察 プリント

	漢字仮名交じりの書	・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成と漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解する。 ・感興や意図に応じた、漢字（楷書・行書・隷書・草書）と仮名（平仮名・片仮名）の調和等による、全体の構成を工夫しながら表現する。（創作）	a：漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素や、名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a：線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。（鑑・知） a：目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身につけている。（技） b：目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 b：創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑） c：主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c：主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	作品 プリント	作品 プリント	観察 プリント

3	仮名の書	・臨書を通じて古筆（平仮名・変体仮名・片仮名）の表現形式に応じた全体の構成と、仮名の書を構成する様々な要素を理解する。 ・古筆の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。（創作） ・高野切第一種 ・高野切第三種	a：仮名の書を構成する様々な要素や、古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a：線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と文化、文字の美と時代などとの関わりについて理解を深めている。（鑑・知） a：仮名の古筆に基づく効果的な表現の技能、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けている。（技） b：仮名の古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b：仮名の古筆の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑） c：主体的に篆書の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c：主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	作品 プリント	作品 プリント	観察 プリント

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度